

前期基本計画 平成30年度 基本施策方針評価書

政 策：01 人のつながりによって市民が行動しているまちを目指します

基本施策：03 環境への意識づくり

主管課長職・氏名	環境課長 朝岡将人
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の平成30年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

本市は、岩手山をはじめとする雄大で恵まれた自然環境の下、環境基本条例を定め、環境に配慮した地域づくりに取り組んでいます。取組みを更に効果的にするため、環境ボランティア及び地域リーダーを育成するとともに、ネットワークづくりを進め、市民、市民団体、事業者、市の協働による環境保全活動に取り組める体制や地域清掃の推進体制の醸成を目指します。

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度	進捗率(%)
1	暮らし 豊かな自然がたくさん残っていると思う人の割合 単位 %	79.2	79.5	80	80.5	81	81	D
			77.3	76.7	76.2	77.9	77.9	△72.2
2	幸福 定期的に自然と親しむ機会を持っている人の割合 単位 %	47.9	48	50	52	54	54	D
			45.9	45.4	42.3	49	49	18.0
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度	進捗率(%)
1	暮らし 01030100 住民協働による環境保全 豊かな自然がたくさん残っていると思う人の割合 単位 %	79.2	79.5	80	80.5	81	81	D
			77.3	76.7	76.2	77.9	77.9	△72.2
2	幸福 01030100 住民協働による環境保全 定期的に自然と親しむ機会を持っている人の割合 単位 %	47.9	48	50	52	54	54	D
			45.9	45.4	42.3	49	49	18.0
3	暮らし 01030200 クリーンたきざわ運動の推進 人々が集まり活動できる「場」があると感じている人の割合 単位 %	43	44	44.7	45.4	46	46	A
			35.1	44.7	52.1	48.7	48.7	190.0
4	幸福 01030200 クリーンたきざわ運動の推進 地域清掃活動への参加者数 単位 人	19,971	20,500	21,000	21,500	22,000	22,000	D
			20,440	19,711	18,526	16,024	16,024	△194.5
	単位							

前期基本計画 平成30年度 基本施策方針評価書

政 策：01 人のつながりによって市民が行動しているまちを目指します

基本施策：03 環境への意識づくり

主管課長職・氏名	環境課長 朝岡将人
関係課長職・氏名	

2. 基本施策の実現に向けての平成30年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮したまちづくりを推進しました。 ・衛生指導員と協働し、環境保全活動や地域清掃に市民の皆さんが主体的に取組める体制構築を推進しました。 ・狂犬病予防のための集合注射を実施し、適正飼養の啓発に努めました。 	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <p>自然環境を大切に、豊かな自然を次世代に引き継ぐ必要があります。</p> <p>【重点課題に対応した達成状況】</p> <p>市民に環境問題に対する取り組みに関心を持ってもらい、意識啓発を図るため衛生指導員体制を継続的に推進し、環境保全に対する支援を行うなどの取組により達成しました。</p>	

3. 基本施策の実現に向けての平成30年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>世界的に廃棄プラスチックのリサイクルについての関心が高まり、あわせて廃棄物の環境に与える影響についても関心が高まっています。</p>	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>政策達成のため、引き続き同一内容の施策が必要であるため、見直しの必要はありません。</p>	

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 2年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <p>引き続き豊かな自然を次世代に引き継ぐため、より一層の環境保全に向け環境に配慮した環境づくりに関する取組みを進めます。</p> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境ボランティアや地域リーダーの育成としてたきざわ環境パートナー会議の支援に関すること。 ・衛生指導員と協働し市民の皆さんが主体的に環境保全活動や地域清掃に取組める環境の構築に関すること。 ・県央ブロックごみ・し尿処理広域化の推進に関すること。 ・ごみ減量化の行動計画の推進に関すること。 ・ごみ処理施設の延命化に関すること。 	

